

戦略的国際人的資源管理の統合フレームワーク：
多国籍企業戦略と 5-P モデルの組み合わせ

慶應義塾大学大学院

翁 娜娜

<要旨>

本稿は、多国籍企業戦略（ローカル適応戦略 vs グローバル統合戦略）と戦略的人的資源管理（SHRM）の 5-P モデルを統合したフレームワークを用い、SHRM の方向（Philosophies）、方針（Policies）、計画（Programs）、施策（Practices）、および過程（Processes）という 5-P モデルが、ローカル適応戦略と整合する必要があることを提案している。さらに、フレームワークの有用性を二つの日系企業の事例分析により、5-P モデルと経営戦略の一貫性は現地法人のパフォーマンスにとって有益であることを主張する。最後に、ローカル適応戦略と 5-P モデルの統合フレームワークの影響と今後の方向性について説明する。

キーワード：戦略的人的資源管理、多国籍企業戦略、5-P モデル、パフォーマンス